

自動車・車載—最新技術



人とくるまのテクノロジー展 2024 YOKOHAMA

5月22日—24日/パシフィコ横浜

国内最大級の自動車に関する技術展「人とくるまのテクノロジー展 2024 YOKOHAMA」が、5月22日から24日までの3日間、横浜・みなとみらいのパシフィコ横浜で開催される。日本航空電子工業やイリソ電子工業、ヒロセ電機、TE Connectivityなどが出展し、自動車・車載に向けて関連コネクタや技術を紹介する。

自動車技術会（JSAE）が主催し、リアル展に先駆けて5月15日から6月5日まで、オンライン展が開催される。

ケルは自動車・車載関連の展示会に

は初めて出展する。人とくるまのテクノロジー展を通じて、カーナビゲーションやドライブレコーダーなど情報系機器で培った技術力や新製品を、自動車・車載産業に向けて訴求。フローティングコネクタのほか、140度Cの高温と耐振動を両立した開発品など、「高速通信・高耐熱・高振動」を新しいコンセプトに、同社コネクタの採用分野を深掘りする。

このほか日本端子や日本モレックス、本多通信工業、SMKなども出展する。

（写真は前回=2023年の展示会）

ケル

ケルはピン間隔が0.4mmの極細同軸ケーブル用コネクタ「ASLSシリーズ」を販売した。極数が30極で、基板占有面積44平方mmの業界最小クラスのサイズ。磁場や磁界の影響を受けない非磁性化を実現した。

グラウンド多点接点により耐ノイズ性に優れ、使用温度105度Cに対応。ケーブル保持力を強化、端子は2点接点構造を採用し接触信頼性を向上した。

嵌合口にガイドを設け、嵌合位置のスレによる誤嵌合や破損を防止する。30極以外の極数を順次展開する予定で、小型・高信頼性が求められる監視カメラやドローンなどに訴求する。